



ロータリーの未来は
あなたの手の中に

Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創立：1980年(昭和55年)11月10日
 会長：増田 盛英
 幹事：高木 勝
 クラブ委員長：岩崎 道夫
 例会日：毎週木曜日PM12:30~
 会場：ヒルトン名古屋
 事務局：460-0008
 名古屋市中区栄1丁目3-3
 ヒルトン名古屋910号
 TEL：052-211-3803
 FAX：052-211-2623
 MAIL：276nagoya@mizuho-rc.jp
 URL：http://www.mizuho-rc.jp/

2009~2010年度
 国際ロータリーのテーマ
 ロータリーの未来はあなたの手の中に
 2009~2010年度
 RI会長 ジョン・ケニー

第1432回例会

2009年10月21日(水) 晴 第15回

~職業奉仕・米山月間~
 クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

名古屋観光ホテル
 ガバナー公式訪問

司会：名古屋南RC 片桐 満会場委員長
 斉唱：「奉仕の理想」
 ゲスト：国際ロータリー第2760地区ガバナー 大澤輝秀さん
 国際ロータリー第2760地区地区幹事 岩瀬淳一郎さん

名古屋南RC会長挨拶

築瀬悠紀夫会長

本日は名古屋瑞穂RCさんと一緒にRI2760地区ガバナーの大澤輝秀さんと地区幹事の岩瀬淳一郎さんをお迎えしてのガバナー公式訪問例会でございます。大澤ガバナーにおかれましては大変ご多忙の中、去る8月19日の東海RCを皮切りにすでに71クラブの公式訪問を精力的に実施され、その成果を着々とあげておられると伺っております。本日の例会が名古屋での最後のガバナー訪問ということで、大変中身の濃いお話を聞かせて頂けるのではないかと考えております。2週間ほど前に草野ガバナー補佐より、本日のガバナー公式訪問に備えてのお話をいただきました。本日大澤ガバナーには、例会に先立ちまして名古屋瑞穂RCの会長・幹事さんと、私ども名古屋南RCの会長・幹事で懇談会をもっていただきました。その席上でRCの考え方、あるいは運営方法などについて懇切丁寧なご指導をいただきました。この年度、会員の皆様とともに良いクラブ活動を展開していくにはどうしたら良いかについて大変貴重なご意見をいただきました。本日はお示しいただいた指針、並びにこれからいただきます卓話の内容を十分理解し、さらに一層充実した名古屋南RCにしていきたいと考えております。どうぞ本日はよろしく願いいたします。ありがとうございました。



会長挨拶

増田盛英会長

本日は、名古屋瑞穂RCのスポンサークラブであります名古屋南RCさんと大澤ガバナーをお迎えしての合同例会です。名古屋南RCさんにはホスト役をお務め頂き、何かとお世話になり誠にありがとうございます。先程行われた大澤ガバナーとの懇談では、種々ご指導を賜り誠にありがとうございました。来年6月までまだ8ヶ月余りありますが、参考にさせていただき、運営していきたいと考えております。



実は、当クラブは昨年の松井会長年度に、大澤ガバナーの会社であるオーエスジー株式会社さんを職場例会で見学させていただきました。オーエスジーさんの主力商品は「タップ」と言う「めねじ」を切る工具で、国内はもとより世界でNo.1のシェアがあります。用途は、自動車や航空機等のエンジンに代表される精密加工に重要な役割を果たしています。

世の中の工業製品のほとんどに螺子が用いられております。私が驚きましたのは、その螺子を切るタップが、顕微鏡で見ないとわからないくらい小さなものから、すごく太いものまで様々であったことです。

私は、日本酒製造元に製造機械を納入する商売をしております。食品工場は、清潔でなくてはなりません。私がもう1つ驚きましたのは、工場内が食品工場に優るとも劣らない清潔さであったことでした。正に5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)が徹底されている会社であり、勉強させて頂くことが多々あったと会員一同感服致しました。大澤ガバナーにゴマをすったわけではありませんが、これで挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

幹事報告

高木勝幹事

- ・明日10月22日(木)は振替休日です。
- ・次週10月29日(木)はヤマザキマザック美濃加茂工場における職場例会です。バスを利用される方は10時20分にヒルトン名古屋1階のロビーへ、車で現地へ直接行かれる方は11時30分にヤマザキマザック美濃加茂工場へお集まり下さい。

出席報告

松岡道弘出席委員長

会員70名 出席47名 (出席計算人数53名)

出席率 77% 10月15日は補填により 85.2%

ニコボックス

松岡道弘ニコボックス委員長

- ・大澤ガバナー、岩瀬地区幹事、ご指導ありがとうございました。
 増田 盛英さん 高木 勝さん
- ・南RCの皆様お世話になります。
 高村 博三さん
- ・大澤ガバナーをお迎えして。
 野崎 洋二さん 森 恒夫さん 鈴木 圓三さん
 渡辺喜代彦さん 関谷 俊征さん 田中 隆義さん
 松岡 道弘さん 長瀬憲八郎さん

合同クラブ会長・幹事懇談会

例会前11時30分より大澤ガバナー及び岩瀬地区幹事をお招きして、「合同クラブ会長・幹事懇談会」が開催され、大変有意義なご指導を賜りました。(当クラブ出席者・増田会長、高木幹事)





▲合同クラブ会長・幹事懇談会

卓話 2009年～10年度 第2760地区ガバナー 大澤輝秀さん

ガバナー訪問



皆さんこんにちは。2009～2010年度第2760地区ガバナーの大澤輝秀と申します。ご承知のように私は豊川RCに所属しており、ロータリー経験は33年と長きに渡っているのですが、ロータリーについて何も知らないことを自慢できるくらいのガバナーでございます。現在私はガバナーの仕事を通して大変勉強させていただいております。私は丸々2年間、ノーネクタイでロータリー活動に参加し、私なりのメッセージを送って参りました。まず、なぜノーネクタイなのかという話ですが、今年度のジョン・ケニーRI会長が年度はじめに、若い会員を出来る限りどんどん増やしていただきたいという話をされました。現在、世の中は多様化しており、若い人たちの服装を見るとノーネクタイであるのが普通であるように思います。私はロータリーの中で、ネクタイ姿と同じようにノーネクタイも定着させていきたいと思っております。さらに、ネクタイを締めないと体感温度が2度下がると言われており、CO₂の問題を考え、これはもう是非取り入れなければならないと思ったわけです。そしてもう一つ、ちょうど10年前の話になりますが、ある時私が例会に出席した際、私と同輩のロータリアンが若いロータリアンにネクタイをせずに例会に出席したことを注意しているのを見て、これは普通じゃないと思ったのです。ロータリアンの皆さんに各自プライドを持っていたことは大変大事ではありますが、もしロータリアンが、自分たちは特別な人の集まりだと考えているのだとしたら、ロータリーは今後大変厳しいことになっていくのではないかと感じました。私はガバナーになって色々な勉強をし、大先輩である佐藤千寿さんの本を何冊も読みました。すると、どの本にも「ロータリーの迷信」というものがあり、その1項目目が「ロータリーの例会にはネクタイを締めて出席しなくてはならない」でした。皆が「これはちょっとおかしい服装だ」というものはともかくとして、通常であれば許されるノーネクタイのような服装は是非定着させていただきたいと思っております。来年度はもっともっと世の中が進んでいくのではないかと期待している次第でございます。

さて、ガバナーのいくつかある務めの中で私がまず皆様にご報告したいことがあります。7月1,2日に開催されたガバナー会で、RI理事会から帰ってきたばかりだという黒田正宏理事より、RIの経済情勢についてお話がありました。毎回RIでは理事と同行した通訳さんの経費や宿泊費の面倒をみているのですが、今回は「通訳さんの分はこちらで負担しますが理事の方は自腹でお願いします」ということであったそうです。そのくらいRIも厳しい状況であることを認識せざるをえません。昨年のリーマンショックの影響がRIにもあるということをご承知いただき、経費節減について常々考えていかなければなりません。

さて、ここからはスクリーンを見ながらお話ししたいと思います。こちらに世界のガバナーエレクト534名の集合写真があります。日本からは34名が参加しました。このサンディエゴの国際協議会では李東建

さんからジョン・ケニーさんにバトンタッチをする儀式がありました。その後ジョン・ケニーさんの話の中でRIテーマが掲げられました。日本語訳では「ロータリーの未来はあなたの手の中に」ですが、ガバナー研修会は英語で行われるため、私は部屋に戻ってからインターネットでこの日本語訳を知りました。私が今回ITを意識して皆さんにお願いした背景にはこのようなことがありました。インターネットなしでは世の中が前に進まないようになってきたと感じます。ジョン・ケニーさんも「水保全」ということをおっしゃいますが、英語では「water」の一言です。しかし、一言で「水」と言っても飲み水から工業用水までさまざまです。ロータリーにおける「水保全」とは、飲めない水を飲まなければならない人々のためにという背景があります。また、飢餓救済は「hunger」という言葉で表現されています。飢餓救済には「識字率」も含まれます。飢餓救済と識字率は大変連携した部分です。我々がある地域にお金で支援をしたとします。お金は使えばなくなるため、またお金を送らなければならなくなります。しかし「識字率」は教育であり次につながっていくものです。そして、日本でも読めない方はゼロではありません。外国人労働者に対しても問題はあります。先進諸国はそれぞれこういった問題を抱えています。

日本のRCでは今後ぜひIT率を高めていきたいと思っています。ここにいる方々も仕事場へ戻ればIT抜きでは進まないようになっていくと思います。ところがロータリーではITが使われていないという実態があります。ITに関しては私も使う努力をして、8月以降はガバナー月信をITで配信しています。7月号の53ページにガバナー月信の個人配信登録の方法が書かれており、登録していただくと皆さんのパソコンにすべての情報が届くように設定されます。印刷をしなればその分経費節減にもつながりますので是非ご登録ください。

ガバナー研修会の3日目のことですが、ビル・ゲイツ氏がポリオ・プラスについて1時間ほど話されました。皆さんご存知のとおり、3年前に彼は1億ドルのマッチング・グラントをスタートさせているのですが、今回自分が2億5500万ドルを出すのでロータリーの皆さんも1億ドルをマッチング・グラントしてくださいというものでした。そうすると、トータルで5億5000万ドルのお金がポリオ・プラスに投入されるわけです。ビル・ゲイツ氏の生まれた1955年、それはポリオがアメリカで最後に出た年であり、それ以来アメリカでは一切出ていないのだそうです。そういったポリオ撲滅を、なんとか世界で達成したいとのことでした。彼が参加してからお金の集まり方が右肩上がり、彼がその話をしたあと、その場にいた全ての人がスタンディングオベーションで彼を讃えました。

さて私は、日本のロータリーの未来は我々の手の中にあるのだということを是非皆さまに申し上げたいと思います。そして、会員の増強はともかく退会を減らしたいと考えています。そのためには皆さんが例会に出席するのが楽しいと思っていただくことが必要です。そういう例会活動を会長・幹事さんにはお願いしたいと思います。

最後にリーダーシップについてお話をさせていただきます。ロータリーにおいて成功するリーダーシップとは何でしょうか。トップに立ち皆を引っ張っていくリーダーも必要ですが、これだけでは成功しません。皆と肩を並べ、仲間を生かすリーダーシップを大切にしてください。こういったことを頭に入れていただき、皆さんのロータリーライフをより充実したものにしていきたいと思います。

例会のご案内

■本日の行事 10月29日(木) 職場例会

場 所：ヤマザキマザック美濃加茂工場

■次週の卓話 11月5日(木)

卓話講師：地区R財団委員長 深谷友尋さん

テマ：ロータリー財団について

■次々週卓話 11月12日(木)

卓話講師：J.P.S.所属プロゴルファー 松井利樹さん

テマ：メンタルゴルフ